

コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く 正答率 22.1%

解答類型	割合 (%)
○ 「読書という」	22.1
× 「子ども読書」「世界本の日」「セロ弾きの」	23.1
× 「ある作家の」	3.9
× 上記以外の解答	45.3
— 無解答	5.6

二 筆者は、自分の思いや考えを根拠付けるためにある言葉を引用しています。それは、どの言葉ですか。最も適切な言葉のはじめの五文字を書き抜きましょう。ただし、句点(。 )や読点(、)、かぎ(『 』)は字数にふくみません。

〔コラム〕  
記事の中の▼は、まじまりを表す印です。

1 ▼四月二十三日は「子ども読書の日」。世界では「世界本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しさを味わう日である。2 ▼子供のころ、宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子に心がおどった。3 ▼ある作家の言葉に、「読書というものは、その時その時によって読みの味わいがちがう」というものがある。子供時代に読んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるものだ。4 ▼先日、「セロ弾きのゴーシュ」を再び読んだ。当時は気付かなかった人物の見事な描き方やたくしさを実感した。5 ▼世界の人が本について考える日。子供はもちろん、かつて子供であった大人も童心に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

「子ども読書」「世界本の日」「セロ弾きの」と解答した児童は、引用した場合はかぎ(『 』)でくくるということを捉えてはいるものの、筆者が思いや考えを根拠付けるために引用している部分はどこかということは判断できていないと考えられる。また「ある作家の」と解答した児童は、引用の仕方自体を理解できていないことが考えられる。なお、上記以外の解答で多かったのは、コラム中の5のまじまりから5文字を選んでいるものであった。これは設問を読み、「自分の思いや考え」を述べている言葉を答えればよいと誤って捉えた児童の解答と考えられる。

内容の系統

る説明的な文章の指導事項

第1・2学年 読むこと イ  
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。

第3・4学年 読むこと イ  
目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

第5・6学年 読むこと ウ  
目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

る引用に事関わる

第1・2学年 読むこと エ  
文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。

第3・4学年 読むこと エ  
目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。

提案 引用の必要性や効果を実感できるような言語活動を設定して指導しましょう。

引用の仕方を指導する際には、引用することで「自分の考えの根拠を明確にしたい」、「自分の考えに説得力をもたせたい」、「具体例を挙げて説明したい」などといった目的意識をもたせた上で、具体的な言語活動の場面で指導することが大切です。児童が必要なり効果を実感しながら身に付けた引用の仕方を具体的な言語活動の場面で活用することでより確かな力となります。

「平成27年度全国学力・学習状況調査授業アイディア例」には、「物語の魅力を説明するために登場人物の心に残る言葉を引用したりリーフレットをつくる」という言語活動が示されています。こうした言語活動例を参考にして、効果的な言語活動を仕組み指導していきましょう。